

<MC>本日午後5時台は『集まれ、ファーストペンギン ニュービジネス ザネクストステップ』をお送りいたします。この番組は、**大村市産業支援センター** **センター長 宮本美砂**様とゲスト様と集まり、企業経営について語り合う時間を、大村市産業支援センターの提供でお届けします。ファーストペンギンのように、最初の一步を踏み出すゲスト様のお話をお聞きしながら、リスナーの皆様へ一步を踏み出す勇気をお送りしていきます。本日のゲスト様は**一般社団法人ひぜん里山学舎 代表 石川雅美**様にお越しいただきました。本日はよろしくお願いたします。集まれファーストペンギン、記念すべき第1回が始まりましたね！石川様、これまでの経験を踏まえて自己紹介をお願いしますか？

<石川>**私は先月末に法人化いたしました。**ひぜん里山学舎では、里山などの環境保全やコミュニティ拠点の運営による地域活性化を主な事業目的にしております。現在は事務所兼アトリエが萱瀬にありまして、あともう一つ東彼杵に元就労支援施設を借り受けまして、小さなお子さんがいても気軽に立ち寄れるようなコミュニティ拠点の運営をしております。私自身はちょうど2年前に県外から大村に引っ越してまいりました。

<MC>大村市産業支援センターに来られたきっかけは？

<石川>私がいろいろお世話になっている市内で子育て支援のNPOをされているアプリママさんっていう団体があるんですけども、そこの代表の藤川さんにお誘いいただいて、7月に第1回 女性と経営者のフリートーク会に参加させていただいたのが最初です。

<MC>そこからもう起業に至ったのですか？

<石川>そうです。もう本当におんぶに抱っこじゃないですけど、いろいろ相談させていただいて、おかげさまで。トーク会の日に予約して、個別に相談しました。1時間ぐらいもう好きなように、自分が思っていることやりたいことなど、全部喋ってくださいと言われて、本当に私これもしたい、あれもしたいですみたいなことを喋り、その回は終わりました。

次の個別相談のときに、センター長がそれを踏まえて、ご提案も何パターンか用意しておいてくださっていました。社団法人にした方がいいのか、NPO法人にした方がいいのかとか、もっと細かいこともいろいろありましたが、質問に全て教えていただいて、とてもわかりやすかったし大変勉強になりました。

<宮本> そう言っていただけるととってもありがたいです、ありがとうございます。

<MC> 宮本様は最初にご相談受けた時はどのような印象がありましたか？

<宮本> ご紹介いただいた藤川さんもそうですが、いろんなことを一歩踏み出して新しくやっていける原動力とか、エネルギーをお二人ともお持ちで、そのお二人がタッグ組むんだな！というところがすごく印象深かったです。

ただ事業者が2名になりますので、どういう体制が相乗効果が上がり一番うまくいくかな、などを一緒に考えたのが最初の段階でした。

<MC> この番組のタイトルにもあるファーストペンギンということで、一歩を踏み出すがテーマになっていると思いますが、それについて宮本様はどのように思いますか？

<宮本> 起業は勇気がいることだと思います。始めると責任も伴います。自分のやりたいことを、思い切って一歩を踏み出す勇気を持たれる方っていうのはすごく尊敬していて、尊敬の念を持ちつつお話をさせていただいています。

<MC> 最初の一歩はもう他にはない大きな一歩となりますよね。石川様は1歩を踏み出すときと言いますか、踏み出すまではどのようなお気持ちだったのですか？

<石川> まさか自分が法人化しなきゃいけないっていうふうに思ってなかったです。任意団体として、地味にできる範囲で活動していけばいいかなって思っていました。私にしたら起業は未知の世界なので、本当に何がわからないかもわからないみたいな状況で、今回センター長みたいな存在があり、支援センターの存在があって、何かあったらすぐに相談できる場所があるって思うと、かなり心強いです。

起業されたいとか個人で開業したい女性の方がたくさんいらっしゃるって、皆さん多分そういう不安を抱えてらっしゃると思うので、それを継続して支援してくださるのは本当に心強いし、次に繋がるし、市全体にとっても素晴らしいことだなと本当に思っています。